



大正だより

(11月号)

横浜市立大正小学校

電話:045-851-0755 FAX:045-851-2093

学校HPはこちら→



「よくやった」

こころ
で何度も
なんと

つぶやいて

校長 小林 崇

教職員は、真剣な表情で運動会に取り組む子どもたちを見て、練習の過程を思い出し、子どもたちの成長をかみしめます。そんな教職員の気持ちを想像しながら詠んだ一句です。

先日は、本校運動会をご参観いただき、誠にありがとうございました。予備日の実施となってしまいましたが、子どもたちは練習の成果を存分に発揮し、笑顔と感動にあふれる一日となりました。保護者の皆様には、温かいご声援やご協力をいただき、心より感謝申し上げます。また、地域の皆様にもご声援をいただき、安心して運動会を進めることができました。今後とも、子どもたちの成長を見守り、支えていただけますよう、よろしくお願いいたします。

街を歩いていると、キンモクセイのいい香りが漂ってきます。私はこの秋の香りを感じるとなぜか子どもころを思い出し、懐かしい気持ちになります。そう言えば秋の大正一句でも数名の児童の句にキンモクセイが登場。秋の季語にキンモクセイを選ぶなんて素敵だなと思いました。その他にも大正一句では、季語に「曼殊沙華」や

「名月」、中には「カシオペア」というものもあり、これらも素敵です。季節の移ろいを感じ、俳句に表そうとする大正小の子どもたちの感性に感動しました。

さて、運動会が終わると、次は令和8年度に迎える110周年に向けてキックオフします。まずは、子どもたちの意見や考えを聞くところからスタート。そして今後は、子どもたちが大正小の歴史を改めて知る機会にしたり、大正のまちを誇り、大切に作る気持ちを育てたりして、さらに地域や学校を愛する気持ちの醸成ができればよいと考えています。

「大正時代に大正村にできた大正小学校（当時は大正尋常高等小学校）」というのが何だか不思議で、当時の時代背景などをいろいろと調べているうちに興味深いことが分かりました。それは、大正時代の教育のことです。当時、従来の一画一的な教育への反省から、新しい教育の在り方を探る運動が広がったそうです。その新しい教育とはキーワードでいうと、「子どもの個性を尊重」「興味や能力に合わせた教育」「知識の詰め込みではなく、子どもの生活経験に基づいた学習」だということです。一方で令和の学校教育はどうでしょう。これもキーワードですが、「子どもたちの個性や能力に応じた学習」や「探究的な学びや体験活動」といったことを目指していくことが大切とされています。大正時代と令和時代を単純に比較することはできませんが、目指している教育の本質は変わっていないようにとらえ、大変興味深く感じました。

教育を取り巻く環境は加速度的に変化しています。しかし、運動会で子どもたちが見せてくれた真剣な表情が伝えてくるものは不変です。運動会での経験を大切にして、今後にかしていきたいと思います。